

第5回東山関東フォーラム報告

日時 2012年09月08日 11:00 から 13:00

場所 学士会館 306号室

参加者 別紙参照

演題 東日本大震災の被災と復旧

講師 林昌幸さん (S44年卒)

講演要旨

- ・ 東日本大震災の大被害を受けた日本製紙・石巻工場の
 - 震災当日の対応-----1306人が全員無事避難
 - 地震、津波による被害
 - 復興状況-----半年後の9月に操業再開
- ・ 「自然災害に強い工場」を目指した取り組みについて

— 記 —

東日本大震災により甚大な被害を被った日本製紙・石巻工場を6ヶ月で操業を再開させた、林さん(当時、日本製紙副社長)による講演を開催した。

当日は講師を含め20名の会員が参加し、林さんの講演に引き続き活発な議論、交流がおこなわれた。

<講演者の生の声と交流の場での質疑応答や意見など>

- ・ 復興に「官」は役立たない。頼りになったのは自衛隊と自社の救援隊だった。
- ・ 復興物資の入手や設備の修理を進めるにはいかに役所を動かすかと言う点が大事であったがもう一つ、あらゆる先輩、友人のツテを使うことによって迅速に復興を進めることが出来た。
- ・ 救援物資が本社などから届くのに3日かかった。だから備蓄は3日分必要。
また救援物資を工場においていたが避難場所に置いておくべきだった。
- ・ 当日工場幹部が不在だったにも関わらず1306人全員が無事避難できたのはマニュアルとチリ地震以来取り組んできた日頃の訓練だった。
- ・ 工場閉鎖のデマが出始め半年で生産を再開すると宣言したのが復興を後押しした。
- ・ 本講演は事実に基づくもので学者の机上の議論と違う重みがある。東山会本部や関西支部でも話をしてほしい
- ・ 復興をいち早く行うためには人脈が有効なので東山会の日ごろの活動もこういう点でも重要である。

以上

松本記